




いのちの科学 **プラザ** 月曜 13:00~ 

人の体と心を知り、リスクのなかに生きる

何年も受講を続けている隠れたファンも多い講座で、質疑も熱心、初心者にも刺激になります。今期は自分の体や心を知り、生活、地域から生き抜く知恵を学びます。




近年の遺伝学研究が注目されますが、開講日はふたごの研究で著名な安藤寿康先生から「遺伝と環境、教育の可能性」を聴き、生涯学習への励ましに期待？ 翌週は「AIに意識は宿るか？」を問う科学ジャーナリストの講義につながります。



私たちに身近になった認知症、そして今夏も心配な熱中症。川崎でも温暖化で健康や災害へのリスクが増しており、専門家や救急医から実践的なアドバイスをいただきます。動物はどうか。人類文明と未来も考える豊富な視点の今期講座。受講生の声を生かす提案も歓迎します。

（コーディネーター・佐藤年緒先生/イラストは環境省研究を基にした『サイエンスウィンドウ』掲載図より）

エクセレンス III **新百合** 火曜 14:00~ 

鉄をめぐるアナザーストーリー～鉄の文明史を読み解く

鉄は、人類の歴史の中で武器や農機具そして構造物、動力機械、高層建築物などの素材として時代の節目で大きな改革の役割を演じてきました。AIや半導体全盛の時代では「鉄」はもはや過去の素材なののでしょうか？ 東京スカイツリー（634m）は超高強度鋼管を使用して安全を確保しています。また、昨今の US スチール問題は、「鉄は

尾形光琳「虎図」より構成

国家なり」の現実を示しています。

本講座は、製鉄技術の歩み、国家の盛衰と経済、美術品など様々な視点から鉄の本質に迫ります。「たたら製鉄」による魅力ある美術品・日本刀そして溶鉱炉



イギリス世界遺産 アイアンブリッジ峡谷に込められた先人「コールブルックデール橋」1779年建設の情熱、鉄の未来についても学びます。

目から鱗連続の「鉄をめぐるアナザーストーリー」講座で楽しく鉄の博学者になりませんか。

（代表世話人 山田勝敏）

映像メディア **プラザ** 金曜 15:00~

映像プロデューサーや書物の編集者が語るメディア世界の裏側とは

映像・メディア講座は、一時期低調・低迷の極みにありましたが、新山賢治先生の素晴らしいコーディネートにより、24 後期は 80 名に及び



江戸のメディア王・
蔦屋重三郎 名古屋
刀剣博物館 HP から

受講生を獲得出来ました。

25 前期は日本史の関幸彦先生のコーディネートにより、映像・メディアに加え、活字メディアの講座も加わり、一層充実した内容になっ

ていますので、現在の受講生はもちろん、お友達等お誘い合わせのうえ、お申し込みください。

それから、映像・メディアでは、現在男性3名、女性3名の世話人により、仲良く運営していますので、お仲間になって頂ける方がいらっしゃいましたら是非お申し出下さい。

（代表世話人 石原雅史）

受講申込の日程：1月15日～2月20日



プラザ・野外 木曜 13:15～ WS
身近な環境・みどりから持続可能な社会を学ぶ

身近な環境・自然・防災などの様々なテーマから持続可能社会について、座学と野外研修で学ぶワークショップです。2025年度前期は森林認証、川崎市の地震対策、身近な自然としての鳥類やタケ（竹）、多摩川を取り上げるとともに、野外学習では環境関係施設見学、横浜市の自然や歴史についても



野外学習で都市農業の取り組みを学ぶ（24後期）

通常のカリキュラムに加え、グループでの自主活動も行います。環境・流域探訪・生物多様性等をグループのテーマとして、施設見学・現地探訪や情報収集等を通じテーマへの理解を深めていきます。仲間と協力しながら進めていくので楽しく学ぶことができます。皆さまも是非ご参加ください。（代表世話人 加藤和子）



プラザ 木曜 13:00～
生・老・病・死を考える
一人間学再論

人間学講座は毎期哲学者、倫理学を専門にしている講師だけでなく、漫画家やアニメ関係者など幅広い分野の講師の方々に登壇いただいています。講座のご案内を手にとっていただき12回を眺めていただければ、多様な分野から講師に来ていただいていることがわかんと思います。受講内容紹介から自分が求めている事に出会えることもあるでしょうし、講師によっては話題がどう展開していくのか聴講してお楽しみといったものもあり、多様性を持った講座です。今回は異色の講師として「銀河鉄道の夜」など数多くのアニメを手掛けた杉井ギサブロー監督を2回連続で登壇してもらいますが、内容は聴講してお楽しみです。



(C)2012「グスコードリ」製作委員会 / ますむらひろし
映画『グスコードリの伝記』ポスターの一部

（代表世話人 富本直一）



プラザ・野外 月曜 10:30～
川崎発の都市農業を体験的に学ぶ、味わう

本講座はなるべく地元発の身近な話題を取り上げていますが、今回は川崎市の都市型農業を考えます。まずは全体像を行政側や「食と農」に詳しい地元の講師から伺います。その後、講義だけでなく体験や実習も行います。

中原区役所の近くに農作物を通して人と人をつなぐ「コスギアイハグ」がオープンしました。今回そこで収穫も体験します。また麻



<収穫も体験>

生区の防空壕跡ではキクラゲ栽培に成功し、各メディアで多く報道されましたが、その人気の実態を学びます。最終回は地元産の取れたての野菜で調理実習をし、試食を楽しみます。

人が生きるために不可欠な食について、地元発の観点で楽しみながら学べます。

（担当理事 金子勉）



プラザ・野外 土曜 10:30～
歴史をひもとき、私たちの川崎を再発見しよう

古代から近現代まで・・・多様な人々が交差したこの川崎、川崎に生きた人々の痕跡探る、川崎に生きた縄文人の顔身体表現、先進文明をもたらした先進的技術を駆使し発展させた人々、川崎にあった稲毛荘にみる中世荘園と耕地開発、天保の飢饉と名主の救済活動、戦争を語り継ぐ 軍の秘密機関登戸研究所、命を守った川崎の人々。関東大震災での虐殺の回避等、海を渡ってきた人々・新しい文化を創造する人々・21世紀に生きる人々・・・等々
今回も野外学習が2回あります。




登戸研究所

* 橘樹郡衛から古代道を歩き古代ロマンに触れる * 川崎民話の世界を歩く・・・等々

川崎の人々がここに集い、どのように暮らしてきたか、また、川崎の人々がどう関わっていたか、これからどう関わっていくか等々・・・とても興味が湧きます。

改めて川崎を再発見、また見直しませんか！！
（担当理事 木村ますみ）

現代事情 **プラザ** 月曜 10:30~ 
人口減の衝撃



2010年代以降、人口減少社会に突入しています。年金・医療・介護など社会保障制度はどのような政策対応がなされるのか？ 少子化で危機に瀕する地方自治体、地域社会は崩壊するのか？ 女性や次世代に生きづらい社会なのか？ 労働力不足・高齢者の雇用は今後どのようにしていくのか？ 外国人雇用政策は転換を迫られるのか？ 人口の統計的な動きはすぐには変えられないが、豊かさを実感できる社会を実現するために、現実から目を背けず、将来への希望を失わないために、どのように考えていけばいいのか、本講座では多面的な研究分野、フランスと韓国など諸外国の経験も含めて考えていきます。（担当理事 芦澤康夫）


音楽Ⅱ **新百合** 木曜 13:30~
もうひとつのヨーロッパ…改めて北欧・東欧・ロシアの音楽の神髄を探る

クラシック音楽の主流と言えば、ドイツやイタリアとされています。しかし、そもそも音楽とは全ての民族に等しく与えられた「音律の営み」であり、多様な言語があると同様に、あるいはだからこそ、多様な音楽が存在します。今期の音楽Ⅱ講座は、「周辺」と言われる「もうひとつのヨーロッパ」に息づいた音楽に注目します。



それは北欧・東欧・ロシアの3つの地域です。ブルース・ウィルス演じる映画「ダイ・ハード 2」に流れるシベリウス（フィンランディア）、「戦場のピアニスト」のショパン（バラード第1番）、「逢い引き」

のラフマニノフ（ピアノ協奏曲第2番）、こうした作曲家の文化的背景とは、気鋭の指揮者・音楽学者・声楽家が語ります。（担当理事 重藤和義）

短期集中 **新百合 21ビル B2・多目的ホールで** 
開催3日間で集中的に学びます。

101 **いまだからこそ、お墓・葬式・家族を考える**
新百合 火曜日 10:30~

お墓をどうするか、葬式をどうするかという問題は、現代においては数年単位で常識や考え方が大きく変わる、私たちにとって切実な問題です。〈正解〉が見えないこれらに関わる問題を、日本人の死生観・宗教観・先祖観などの思想の観点、そして現在のお墓や葬儀をめぐる事情から考えて行きます。（講座概要から）



102 **学閥の誕生**
新百合 火曜日 10:30~

派閥の語感が語るように、閥には負の要素がつきまとう。学閥



もまた然りだ。わが国が近代へと脱皮するための必要悪が学閥だった。藩閥打破の主役に躍り出た学閥の命運は如何！学閥が近代日本に与えた光と影をおう。今次の3回に亘るテーマを介し、日本社会が宿す学閥の歴史と諸相について掘り下げる。（講座概要から）

103 **古文書学のこれから~AIを駆使、進化する学問**
新百合 木曜日 16:30~

水と油の融合の象徴が学問レベルで実現。そんな内容が眼前に展開するとしたら？ AIを駆使した古文書読解の進化には、目から鱗の連



甲子夜話

続です。あたかも職人技の独占を開放させる科学の力をお楽しみに。（講座概要から）

日本の伝統芸能 **高津** 月曜 13:30~
古典芸能と文学

講座のテーマは、古事記、万葉集、源氏物語、平家物語…です。さて何の講座でしょうか。…実は「音楽」の講座なのです、「日本の」…。どんな民族にも「歌謡」の歴史があります。私たちの心と体の奥底に流れている音律とは一体どんなものなのでしょうか。そしてそのルーツとは。「うたう」は「歌う」であり、「謡う」、「唄う」、「謳う」、そして「詩」でもあります。音楽と文学は切っても切れない関係にあります。

久米歌（くめうた）、東遊（あずまあそび）といった



平家琵琶

古代歌謡の世界、源氏物語を題材とした箏曲の数々、平家物語と言えば琵琶、今様・閑吟集に滲み出る中世の庶民の心、江戸の三味線音楽、明治の新体詩と、音楽と文学の関係を考えます。

（担当理事 重藤和義）

経済 **プラザ** 金曜 13:00~ 
アジア経済の現状と未来

25年前期経済講座は、「アジア経済の現状と未来」と題し、明治大学商学部小林尚朗教授にコーディネート頂きました。小林先生他8名の先生方によるオムニバス講座です。日本の失われた30年（企業の海外脱出）とその反面で成長を続けているアジア各国経済を知り、日本の経済政策の問題点、アジア諸国との協力関係を考える講座になればと思っています。またトランプ復活に伴う経済覇権を巡る「米中対立」を中国はどうする？その他アジア諸国は？日本は？金曜日



小林尚朗教授

は、午前（世界史）も午後（経済）もアジアにどっぷり浸かってみませんか 経済講座ぜひ受講してください。（経済講座 世話人一同）

地域E 活動支援 **プラザ・野外** 金曜 10:30~
樹木医と緑の専門職から「みどりのボランティア」の楽しさを学ぶ 

フランスの作家で植物学者のベルナルダン・ド・サン＝ピエールは、「どの樹木にも固有の表情がある。」と述べています。私たちの暮らしの身近にある自然といえる、街路樹や公園樹、花々にはそれぞれどのような表情があるのでしょうか。

この講座では、樹木医で副学長の石井誠治先生と川崎市公園緑地協会・緑の専門職の野牛雪子先生から、身近な自然を理解する学びとその成果をボランティアにつなげていく道筋も学べます。市民の皆さんがボランティアとして活躍している里山や公園などを見学、それぞれの活動にトライできるプログラムも組み込まれています。きっと樹々や花々との楽しい語らいを体験できる格好の場になるでしょう。（担当理事 守田啓子）



川崎市公園緑地協会 HP より

12/17 緊急開催「特別講座」の報告です！

“現代日本政治を診断する”
 ……2024年総選挙結果を踏まえて”

講師：東京大学法学部教授 谷口将紀
 まず今回の総選挙の結果を総覧し、なぜ安倍長期政権が続いたのか、石破政権が前政権から引き継いだものは何か、各党の政策と最近の世論調査からみられる有権者の考えをクロスさせると見えてくるもの、そして政治資金規正法の改正のポイントは何か、我が国の国会運営にはどんな問題点があるかなど、日本の政治を巡る諸問題を「至近距離で」お話頂き、とても充実した90分となり、谷口先生には再度のご登壇をお願いして講演会を終えました。

（担当理事 重藤和義）



認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー
 発行人 広報・地域連携部会
 編集人 かわら版編集委員会
 川崎市中原区今井南町 28-41 川崎市生涯学習プラザ 3F
 電話 044-733-5590 FAX 044-722-5761
 問合せメールアドレス info@kawasaki-c-academy.jp HP はこちら↓
<https://kawasaki-c-academy.jp/> 